

所属・役職・氏名:家畜改良センター鳥取牧場 場長 吉ざわ努、香川県畜産試験場 主席研究員 高橋和裕

連絡先 :TEL: 0858-55-1511、E-mail:t0yoshiz@nlbc.go.jp

家畜の生産管理情報のインターネット化(IoA)で畜産農家の経営革新を実現します。

提案内容

・提案技術の概要:

ICT技術を活用した分娩監視・看護、発情監視、飼料給与、衛生管理など家畜生産飼養管理業務の軽労化・効率化・高度化を推進するとともに、日々生じる各種生産飼養業務で発生する事象記録のデータベース化を推進し、これらの情報をインターネット化することで、情報の共有等による効率的な活用を図り、家畜生産飼養管理業務の更なる軽労化・効率化・高度化を実現するシステムを構築する。

・想定される地域:全国

・対象品目: 肉用牛

現時点で生産現場等での実証研究(別紙のSTEP2)が可能か: はい・ いいえ
いいうの場合、研究室やラボレベルの研究(別紙のSTEP1)があと何年程度必要か: 〇年程度

期待される効果

ICT技術の活用と情報のインターネット化による生産飼養管理技術の軽労化・効率化・高度化を実現します。

コメント

生産現場での普及・実用化を強く意識し、生産現場の声がプロジェクトに反映できるグループ構成を行ないました。

想定する研究期間: 3年

研究期間の概算研究経費

20,000千円

(うち研究実証施設・大型機械の試作に係る経費 千円)

家畜の生産管理情報のインターネット化(IoA)で畜産農家の経営革新を実現します

IoAによる飼養管理の精密化・軽労化による生産基盤の強化

解決

問題

牛の数が
増えて十分な
管理ができ
なくなった。

どこからでも
放牧牛の確認
ができればいいのに

複数の人とモニターで牛
の様子が確認できる！

自動的飼育管
理情報のデー
タベースができ
るようになった。

遠隔地の牛舎でも、
牛の健康確認ができ
るようになった！

現況を確認しながら、
経験者が的確なアド
バイスをしてくれた。

牛の日常監
視作業を補助
してもらいた
い。

いつでも経験者
のアドバイスが
ほしい！

解決方法:生産飼養管理の情報を自動でデータベース化、
必要な家畜の情報をいつでもどこでも確認、利用できる

畜産再興プラン

- 黒毛和種の増頭
- 酪農生産基盤の強化

- 牛の生産管理履歴を自動でデータベース化、いつでもどこでも利用できるので生産方法を自ら確認し、作業の軽労化・効率化・生産技術の高度化を実現。
 - 消費者に生産履歴が明らかにすることにより、安全安心な畜産物を広く世界に提供します。